

06

海外教師教育者による 日本のレッスンスタディの体験

PELSTE2020の一企画として

日時/2020年1月11日(土) - 12日(日)

場所/広島県立広島観智学園中学校・高等学校、広島大学大学院教育学研究科B101



Background — 背景

教師教育者の専門性をテーマとした「PELSTE2020」

EVRIは、世界の教師教育者と「平和教育」「授業研究」をテーマに学術交流を深めることを目的とした「PELSTE2020」*を企画しました。INEIの加盟機関に参加を呼びかけたところ、5名の大学教員・大学院生らを招へいすることができました。

*Peace Education and Lesson Study for Teacher Educator

Purpose — 目的

海外の教師教育者にレッスンスタディを体験してもらう

レッスンスタディは、世界で注目されている教師集団の専門性開発の方法論であり、研究者の研究手法の1つです。PELSTE2020では、参加者にレッスンスタディを体験してもらうこととしました。それを通して、レッスンスタディが秘める授業改善・学校改革の可能性と、一方でそれを世界各地で実行するときの課題について議論することを目指しました。

00 授業観察の視点と方法を事前検討



大崎上島の日本旅館で食事をとりながら

01

授業観察「日米の子どもによる教科書づくり」

@広島県立広島観智学園中学校・高等学校

広島県立広島観智学園中学校・高等学校を訪問し、未来創造科「Global Justice」の単元「日米の子どもによる教科書づくり」を参観しました。本単元は、広島観智学園の先生方と草原和博先生・金鍾成先生が共同で開発・実践しているものです。日本・広島観智学園の生徒と米国・La Fetra小学校の児童が、それぞれの立場から「ヒロシマ」をどのように表現するかを悩み、対話している様子を参観しました。

● 観察の様子



草原和博先生らによる日米の子どもによる教科書づくりの授業を、午前中の3時間、参観しました。子どもが観察者らに話しかける風景も見られました。

● 参観の傍ら、後方で議論を深めた



授業の最中、円になって急速議論が交わされる場面が幾度となくありました。その場で生まれた疑問をその場で共有し、考えを述べ合う有意義な場となりました。

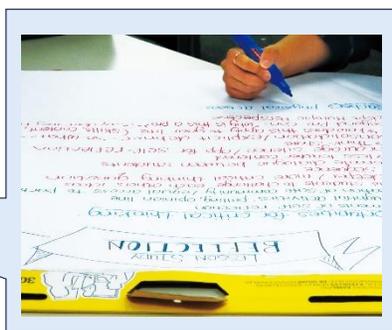
● 観察後は、事後検討会に参加



授業改善に向けて授業者と同僚が共同で授業を振り返り、率直に課題を指摘し、建設的に提案を述べるよう参観しました。PELSTEの参加者も意見を述べる機会を得ました。

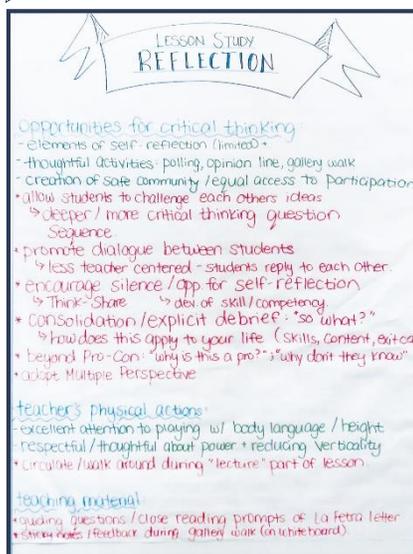
02 EVRI室にて授業検討会の実施

授業者へフィードバックするための省察シートを作る



吉田成章先生のコーディネートのもと、PELSTEの参加者は、自分たちが授業・事後検討会で作成した観察記録をてがかりに、省察シート(意見書)を作成しました。それぞれが異なる視点で授業を観察しているので、まずはその成果を披露しあい、論点を整理し、授業者に伝えるべきことを集約していききました。

03 授業者へのフィードバック



PELSTEの参加者は、授業者の草原和博先生宛ての省察シート(REFLECTION)を作成し、手交しました。またこれにもとづいて、意見交換しました。同シートには、①批判的思考の機会、②教師の身体表現、③教材の3つの観点が設定され、成果が青・緑色で、課題が赤色で記載されています。